

看護学 専攻 _____ 領域（博士前期/士・博士後期・前後期共通）

試験科目： 英語

試験時間：（ 60 ）分

I. 英語論文(著者 GBD 2021 Demographics Collaborators)の要旨を読んで設問に答えなさい。解答はすべて、解答用紙に日本語で記載しなさい。

[*GBD 2021 Demographics Collaborators. (2024). Global age-sex-specific mortality, life expectancy, and population estimates in 204 countries and territories and 811 subnational locations, 1950–2021, and the impact of the COVID-19 pandemic: a comprehensive demographic analysis for the Global Burden of Disease Study 2021. Lancet, 403, 1989-2056.*]

設問1 著者が述べている2020-2021年のCOVID-19パンデミック期間中に発生した死亡率と出生時平均寿命の変化について、日本語で記載しなさい。

II. 次の英文を読んで、設問に日本語で答えなさい。解答は解答用紙に記載してください。

Soichiro Hotta, Kaoru Ashida, Makoto Tanaka (2024) Development of a scale to assess nurses' difficulties in collaborating with physicians in responding to clinical deterioration during night shifts, Jpn J Nurs Sci. p.1-15, <https://doi.org/10.1111/jjns.12622>

- 設問 1. RRS システムは、主にどのような目的で用いられることが提案されているか、説明しなさい。
- 設問 2. RRS システムに関して、本研究においてはどのような問題提起がなされているか、説明しなさい。
- 設問 3. 夜勤帯のコミュニケーションについては、どの職業間でのコミュニケーションについて先行研究が行われているか、その職業を答えなさい。
- 設問 4. 先行研究において示唆されている、夜勤帯における上記の 2 職間でのコミュニケーションの障壁となっている原因を 4 つ挙げなさい。
- 設問 5. 先行研究において、夜勤帯でのコミュニケーションの困難や障壁が、どのような影響を与えると示唆されているか、答えなさい。
- 設問 6. この研究の目的を答えなさい。

看護学 専攻（博士前期/修士）

試験科目： 小論文

試験時間：（ 60 ）分

問 以下の文章を読み、著者の考えに対するあなたの意見を800字以内で述べなさい。

Blank area for writing the answer.

出典) 長堀優(2013)見えない世界の科学が医療を変える、p 36-38、でくのぼう出版

Blank box for additional information or reference.

看護学 専攻 老年看護学 領域（博士前期/修士）

試験科目： 専門科目（ 老年看護学 ）

試験時間：（ 60 ）分

I. 以下の文章を読み、各設問に解答しなさい。解答はすべて解答用紙に日本語で記載すること。設問毎に解答用紙をそれぞれ1枚使用すること。

我が国における急速な高齢化の進展に伴い認知症である者（以下「認知症の人」という。）が増加している現状等に鑑み、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、認知症施策を総合的かつ計画的に推進する認知症基本法が令和6年1月1日に施行された。これにより、認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会（＝共生社会）の実現を推進することを目的としている。

参考文献：厚生労働省老健局「共生社会の実現を推進するための認知症基本法について」第107回社会保障審議会介護保険部会 <https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/001119099.pdf>

設問 1. 認知症を呈する代表的な4つの疾患について、その名称と特徴的な症状や所見についてそれぞれ記載しなさい。

設問 2. 認知症の中核症状について6つ記載しなさい。

設問 3. 認知症とせん妄、うつ病の鑑別（相違）について説明しなさい。

設問 4. 認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるような共生社会の実現に向けて、市民としておよび専門職としてどのようなかかわりや働きかけ、看護が重要であるか、自己の考えを述べなさい。

設問 5. 平成30年に認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドラインが策定された。意思決定支援プロセスには、意思決定支援者の態度、意思決定支援者との信頼関係、立ち会う者との関係性への配慮等の「人的・物的環境の整備（Environmental maintenance of people and things）」を土台として、「意思形成支援（Support for forming intentions）」、「意思表示支援（Support for expressing one's intentions）」、「意思実現支援（Support for realizing one's intentions）」のステップが明示されている。

認知症の人の意思決定支援について、自己の臨床経験でかかわった事例を具体例にあげて、①どのような意思決定支援にかかわったか、②上記ガイドラインの土台である「人的・物的環境の整備」と意思決定支援の3つのステップに沿って、かかわった支援内容を記載し、③支援の結果とその結果から考察する課題について論じなさい。

看護学 専攻 地域看護学 領域（博士前期/修士）

試験科目：専門科目（地域看護学）試験時間：（ 60 ）分

受験番号：（ ） 氏名：（ ）

I. 全てのこどもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、こども政策を総合的に推進することを目的として、令和5年4月にこども基本法が施行されました。我が国では、こどもに関わる様々な課題を背景に、この法律に基づきこども施策を展開しています。そこで、あなた自身の経験から捉えた、こども政策および施策における看護職としての課題意識について1つあげ、具体例を示しながら以下に説明してください。

Ⅱ. 地域包括ケアシステムに関して、以下の問いに答えなさい。

1. 多機関・多職種連携の課題について、その理由とともに説明してください。

2. 地域包括ケアにおける看護専門職の役割について、あなたの考えを述べなさい。